

**製品名:** リン酸化モエシン (Thr558) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe02862

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 68 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MSN
別名	MSN; Moesin; Membrane-organizing extension spike protein; RDX; Radixin; EZR; VIL2; Ezrin; Cytovillin; Villin-2; p81
遺伝子 ID	4478
SwissProt ID	P26038
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

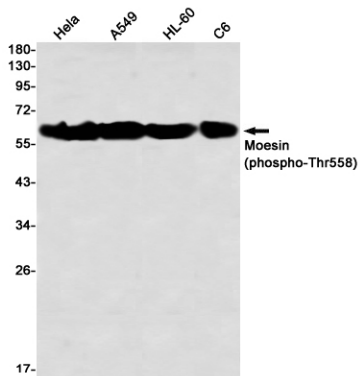
**背景**

エズリン、ラディキシン、モエシン (ERM) タンパク質は、細胞膜とアクチン細胞骨格間のリンカーとして機能し、細胞接着、膜の波打ち、微絨毛形成に関与しています。ERM タンパク質は、アミノ末端ドメインとカルボキシル末端ドメインの間で分子内または分子間相互作用を起こし、不活性な細胞質単量体または二量体として存在します。

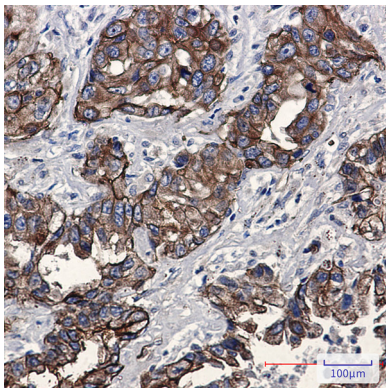
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



Phospho-Moesin (Thr558) 抗体を使用した、Hela、A549、HL-60、C6 溶解物中の Moesin (Phospho-Thr558) のウエスタン プロット分析。



Moesin (Phospho-Thr558) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。